

令和6年度 第4回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時: 令和7年2月18日(火) 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所: 県居小学校 会議室
- 3 出席委員: 早川大介、本多正明、中村恵美子、池田誠子、中西洋一郎、山田勝夫、
稲垣美世子
- 4 欠席委員: なし
- 5 学校支援コーディネーター 中根理恵
- 6 オブザーバー: 県居協働センター 桐澤祐貴
- 7 学 校: 鈴木彰一(校長)、上村仁美(教頭)、中西啓介(教務主任)、
坂口千佳(CSディレクター)
- 8 傍 聴 者: 2名
- 9 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

11 会議記録

司会の早川委員から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に司会から、議長に本多委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校関係者評価

議長の指示により、中西教務主任から、別紙資料に基づき、児童・保護者・教職員の3者に実施した「学校評価アンケート」の結果と考察、改善方策についての説明があった。説明を聞き、委員からは以下の発言があった。

・「学校は楽しいですか」の項目で、「わからない」と答えている子が9%いるが、わからないとはどういうことなのか。(中村委員)

→確認したところ、主に支援級の子が「わからない」と回答していることが分かった。次回アンケートの際には、自分の状態が「楽しい～楽しくない」のどの部分に振り分けられるのか選べるよう、しっかりと説明しながら行いたい。(中西教務主任)

- ・「気持ちの良いあいさつができています。」の項目では児童の評価が高いが、旗振りの時、ほとんど聞こえない小さな声で挨拶をいている子を何人も見かける。相手に聞こえなかったら挨拶をしたことにはならない。大きい声を出せているのかも重要だと思うので、アンケートを「相手に伝わる気持ちの良いあいさつができています」とするのはどうか。（早川委員）
- ・「毎日決められた時間、家で勉強している」の項目では教師の評価が低い、先生方はどのように家庭での勉強時間を確認できるのか。（山田委員）
- 確実な勉強時間の把握はできないが、毎日提出する本読みカードに家庭での学習時間を記入する部分がある。評価が低いとって、宿題をしてこない訳ではなく、決められた勉強時間（学年×10分）を満たしていないと教師が感じた結果だと思う。（中西教務主任）
- ・このアンケートは、「そう思う。」「だいたいそう思う。」という主観的な回答なので、どれだけの確実性があるのか疑問に思う。できるだけ数値化して客観的指標にした方がよい。読書した本の冊数や学習時間、いじめの数など、数値で表して統計を取る方がよいと思う。（本多委員）
- ・「道徳の授業では自分の考えをもつことができる」とあるが、道徳は団体生活や家庭の中で自然に育まれるものなので指導するのは難しいと思う。学校での指導ばかりでなく、保護者も道徳の大切さを認識して、家庭でも教えていかなければならないと思う。（中西委員）
- ・最近の子供たちは、塾や習い事で外遊びの機会が少なくなっている為か、以前だったら擦り傷、切り傷などの軽いけがで済んでいたものが、今は大怪我する事が多くなっている。何か体を動かせるような取り組みがあったらと思う。（稲垣委員）
- ・運動を頑張るために、マラソンなら日本1周カードのような子供たちが興味を引く楽しい仕掛けを作るといい。（山田委員）
- ・以前の県居小学校は、縄跳びを積極的に行っていたが、現在は体を動かす活動を何か行っているのか。（本多委員）
- 長縄活動を行っており、静岡県で行っている体力アップコンテストに参加しているクラスがある。来年度は、全クラスでの参加を検討している。（中西教務主任）

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、鈴木校長から、資料に基づき、平成7年度学校運営基本方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・保幼小中連携とあるが、来年度は「県居つ子を育む会」の時に校区の保育園、幼稚園の方を招待してはどうか。地域の方も含めて小学校、保育園、幼稚園が交流することで、より深い連携ができると思う。検討して欲しい。（中村委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

学校運営協議会自己評価のアンケート結果を見ながら、今年度の学校運営協議会委員として

の活動について振り返りを行い、それを踏まえて来年度の取り組みについて熟議を行った。委員からは以下の発言があった。

・キャリア教育を行い、キャリアパスポートを作成するという、とても良い取り組みを行っているが、実際子供たちに将来の夢や目標を聞くと答えられない子がいる。キャリア教育の認知が足りないと感じるので、来年度はこの協議会で、キャリア教育について保護者へ周知するための方法なども話し合いたい。（中村委員）

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、上村教頭から、夢育やらまいかCS加算分について報告があった。

12 報告

学校支援コーディネーターの稲垣委員と中根さんから、今年度の県居サポーターの活動報告があった。

今年度は、208名の方に県居サポーターとして活動していただいた。今年度の活動を通して、ミシン・調理・探検などのボランティアは、グループを作り活動できるのではと感じた。来年初めにグループでの活動を試したいと思う。

図書の読み聞かせボランティアは、朝の読み聞かせをこれまで27回実施し、残り3回実施予定である。図書環境ボランティアは、図書館前の掲示と和歌展示用の掲示作りを年間12回実施、真淵記念館と県居協働センターへ和歌の掲示、回収作業を年6回実施した。参加人数も増え、活発な活動が出来た。

13 連絡

教頭から、次回会議は、令和7年5月9日（金）午前10時20分から県居小学校会議室で開催する旨の報告があった。